**（別紙-５）**

**建築物耐震診断等評価 チェックシート（屋内運動場他 ）**

**（Ｓ造、ＳＲＣ造、混構造等の場合、適宜補足・修正をお願いします。）**

チェックシート記入年月日　平成　　年　　月　　日　　記入者　（　　　　　　　　　　　）

１　建 物 概 要

建物名 　　　　　　　　　　　 　　 　　棟名

構造

主体架構　1階（ギャラリー下部）　　□ S造　□ RC造　□ SRC造

2階（ギャラリー下部）　　□ S造　□ RC造　□ SRC造

屋根構面の形態

□ 鉄骨山形架構　　□ 鉄骨アーチ架構　　□ 両端支持鉄骨トラス（梁）形式

□ 鉄骨シェル構造　□ PC版　　　　　　 □ その他（　　　　　　　　　）

基礎スラブ形式　　　　　　□ 独立　　　□ 布基礎　　　□ その他

地業の形式　　　　　　　　□ 直接基礎　□ 杭基礎　　　□ その他

張間架構の基礎梁の有無　　□ 有　　　　□ 無

複合施設の有無　　　　　　　□ 有　　　　□ 無

複合施設の用途および構造

平面形状の不整形性の有無　　□ 有　　　　□ 無

不整形性の程度

立面形状の不整形性の有無　　□ 有　　　　□ 無

不整形性の程度

EXP．ｊの有無　　　　　　　□ 有　　□ 無

EXP．ｊの間隔σ　　　　cm 　　高さH　　　　cm 　　σ / H＝

設計図書の有無　□ 施設台帳　□ 意匠図　□ 構造図　□ 構造計算書　□ 地質調査資料

「使用材料」

鋼材　　 材質　　　　　　　　　 ボルト　　　　　　　　　　 リベット

コンクリート □ 普通コンクリート 　　□ 軽量コンクリート

設計基準強度　　　　　　　　　　　　　kg f / cm2

鉄筋　　 主筋　 径 　　　材質 　　　　径 　　 材質 　　　 径 　　材質

せん断補強筋　径 　　　　材質 　　　　　　帯筋ピッチ 　　　　　mm

杭基礎　　 杭種　　　　　　杭長　　　　m 　杭径　　　　長期杭耐力　　　tf / 本

直接基礎　　 長期地耐力　　　　　tf / ㎡

備考

「構造概要」

主体架構

ⅰ) 張間方向

(a)　張間方向の主架構

架構形式　□ ラーメン架構　□ 片持ち柱＋屋根構面　□ その他（　　　　　）

スパン数　　　 　　　 　 　　　標準スパン長　　 　 　　　　ｍ

(b)　張間方向の妻面架構

架構形式　□ ラーメン架構　 □ 壁付きラーメン架構 　□ 筋違架構

□ 筋違付きラーメン架構　□ その他（　　　　　　　　　）

スパン数　　　　　　　 　　　　標準スパン長　　　 　 　　　ｍ

(c)　妻面架構の水平面外の剛性および耐力の程度

ⅱ) 桁行方向

(a)　桁行方向の主架構

架構形式　□ ラーメン架構 　 □ 壁付きラーメン架構　 □ 筋違架構

□ 筋違付きラーメン架構　□ その他（　　　　　　　　　）

スパン数　　　　　 　　 　　　　標準スパン長　　　　 　　　ｍ

(b)　桁行架構頂部の水平面外の剛性および耐力の程度

ⅲ) 鉄骨架構の構造形式

(a)　軸組筋違の断面形状

□山形鋼（単材） □山形鋼（２丁合わせ） □丸鋼 □平鋼 □その他（　　　　　）

(b)　筋違材とガゼットの接合形式

□溶接　□高力ボルト　□リベット　□その他（　　　　　　　　　　　　）

(c)　柱、梁部材の継手形式

柱：□溶接　□高力ボルト　□リベット　□その他（　　 　　　　 　　）

梁：□溶接　□高力ボルト　□リベット　□その他（　　　　 　　　　　）

ⅳ) 鉄骨柱脚の形式

(a) 柱脚位置

□ 最上層柱頭部　□ ギャラリー下部　□ ２階柱脚部　□ １階脚部

□ その他（ 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

(b) 柱脚の形式：□ 露出形式　□ 埋込み形式　□ 根巻き形式

(c) 柱脚固定度：□ 固定柱脚　□ ピン柱脚　 □ 半固定柱脚

アンカーボルト径　　　　　　ボルト本数　　　　　　材質

屋根構面

ⅰ) ブレース材の有無　　　□ 有　　□ 無

(a) ブレース材の部材形態

□山形鋼（単材） □山形鋼（２丁合わせ） □丸鋼 □平鋼 □その他（　　　　）

(b) ブレース材とガゼットの接合形式

□溶接 □高力ボルト □リベット □その他（　　　 　　　　　 　）

RC造およびSRC造架構

下抜け壁の有無　　桁行方向　□ 有　　□ 無 下抜け壁の箇所数 　　　　　　枚

（壁抜けの有無）　下抜け壁下階の用途

張間方向　□ 有　　□ 無 下抜け壁の箇所数　　　　 　　枚

下抜け壁下階の用途

段違い梁の有無　　□ 有　　□ 無

箇所

極短柱（地窓および爛窓）の有無　□ 有　　□ 無

箇所

地震重量　　 １階　　　　　　　　一般階　　　　　　　　最上階

備考

２　現地調査結果

1. 鉄骨架構の実態調査

調査箇所：□ 柱　□ 大梁　□ 小梁　□ 軸組筋違　□ 屋根ブレース

□ その他（部位：　　　　　　　　　　　　　　　 　　）

調査結果の概要と所見

1. く体ひび割れ調査

Aランク（軽微）　　　 Bランク（Ａ，Ｃランク以外）　Cランク（著しいひびわれ）

ひび割れ程度 □ 総部材数の1/9未満 □ 総部材数の1/3～1/9 □ 総部材数の1/3以上

Cランクの場合：主なひびわれ箇所　□壁 □床　□梁　□柱　□その他（　 　　）

原因　□ 乾燥収縮　□ 地震被災　□ 過荷重　□ その他（　　　　　）

1. 不同沈下の測定

Aランク（軽微）　　　Bランク（Ａ，Ｃランク以外）　Cランク（著しい沈下）

不同沈下勾配　□ 1/500未満　□ 1/200～1/500　　□ 1/200以上

Cランクの場合：不同沈下量σ＝　　cm 　測定間距離*ｌ*＝　　m 　σ/*ｌ*＝

1. 柱の傾斜角の測定

Aランク（軽微）　　　Bランク（Ａ，Ｃランク以外）　Cランク（著しい傾斜）

柱の傾斜角　　□ 1/200未満　□ 1/200～1/100　　□ 1/100以上

1. コンクリートの圧縮強度と中性化深さの測定

コンクリート圧縮強度：コア・コンクリート試験による値　　　　～　　　kg f / cm2

シュミレットハンマー試験による値 　　 ～　　　kg f / cm2

コンクリートの中性化深さ 　　　　　　　　　　mm

所見

鉄 骨 架 構 の 実 態 調 査 シ ー ト

シートの対象部材は、柱・大梁・小梁・軸組筋違・屋根ブレースとし、それぞれ下表に示す項目について実態調査を行う。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 部材 | 部位 | 部材名 |
| 寸法 | □ 設計通り　　　□ 設計外 |
| 外観 | □ 特に異常なし  □ 軽微な反り  □ 座屈、変形有り  （部位：　　　　　　） |
| 発錆状況 | □ 特に認められない  □ 仕上げ塗装に剥離有り  □ 発錆している  程度 □ 少し  　　　 □ やや  　　　 □ かなり  　　　 □ 局部的な断面欠損有り  　　　（部位：　　　　　　　） |
| 接合部 | 箇所 | 箇所名 |
| 接合形式 | □ 溶接　□ ボルト、リベット他  　　　　 □ 設計通り　□ 設計外 |
| 溶接 | 種類　□ 突き合わせ溶接　□ 隅肉溶接  溶接不良箇所　□ 有　　□ 無  溶接不良箇所の種類   * アンダーカット * オーバーラップ * ブローホール   隅肉溶接のサイズ　□ 良　　□ 不良 |
| ボルト  リベット  他 | □ H.T.B( □８T　□９T　□10T　□11T )  □ 普通ボルト  □ リベット  □ その他  本数　　　　　□ 設計通り　　　□ 設計外  呼び径　　　　□ 設計通り　　　□ 設計外  座金　　　　　□ 有　　　　　　□ 無  締め付け状態　□ 良　　　 　 　□ 不 |

実態調査の所見